

ドイツ自転車市況—2011

1. 国内生産及び出荷

ドイツ自転車産業協会(ZIV)によると、2011年ドイツ国内の自転車出荷台数は前年比3.6%増の405万台、国内の自転車生産台数は前年比2.7%増の229万台となり、生産・出荷いずれの数値も前年を上回る結果となった。全業態の平均販売価格についても、2011年は前年比7.6%増の495ユーロ(49,500円)となり、更に上昇を続けている。生産・出荷台数の増加と平均販売価格上昇の要因は、ドイツ市場における電動アシスト自転車(EPAC)のブームにより、その販売台数が毎年増加を続けているためである。

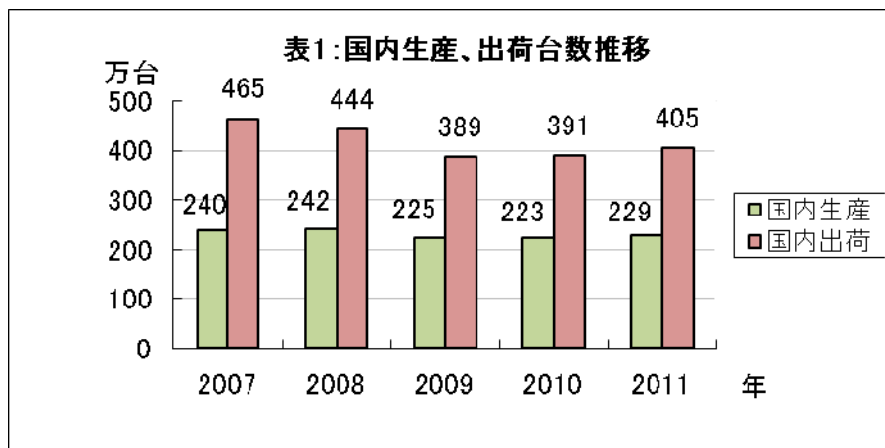


表2: 平均販売価格 (単位:ユーロ)

年	2007	2008	2009	2010	2011
全業態平均販売価格	368	386	446	460	495

2. 輸出入

2011年の輸出台数については、前年比5.9%増の108万台と再び増加に転じた。地域別では約9割近くが欧州諸国向けである。輸出上位10カ国で見ると、最多のオランダへの輸出は前年比0.9%増の21.4万台であり、オーストリアへは前年比11.2%増の11.9万台、デンマークは同比30.8%増の6.8万台、ポーランドは同比8.3%増の6.5万台及び英国は同比9.1%増の2.4万台と、高い輸出増加率をみせた欧州諸国も多い。その一方、イタリアへの輸出は前年比2.6%増の4万台となったが、フランスへの輸出は前年比11.6%減の16.7万台、スペインへは同比22.2%減の3.5万台となる等、特に南欧地域への輸出減少が目立った。

2011年の輸入台数については、前年比5.1%増の284万台となり、2年ぶりに増加に転じた。輸入上位10カ国で見ると、台湾からの輸入が33.7万台と依然として最多ではあるものの、前年比13.4%減となり、過去3年間、減少が続いている。他のアジア諸国では、タイからの輸入は前年比20.1%減の22.7万台と大幅に減少したが、カンボジアは同比23.6%増

の11万台と再び上位に浮上し、更にインドネシアは上位から姿を消す等、年度ごとに輸入上位国が入れ替わる状態が続いており、アジア地域ではいまだに輸入先の変動が続いている。

欧州地域では、オランダからの輸入は前年比18.2%増の27.9万台、リトアニアからは同比79.7%増の26.6万台、更にブルガリアが同比56.8%増の13.8万台となり、それぞれ大幅に増加し、輸入国上位に顔を出したのに対し、チェコ共和国は同比17.2%減の12.5万台、ルーマニアは同比16.9%減の11.8万台と落ち込み、ハンガリーは上位から姿を消す等、年度により増減を繰り返す国々も見られ、依然として欧州域内でも変化はめまぐるしい。

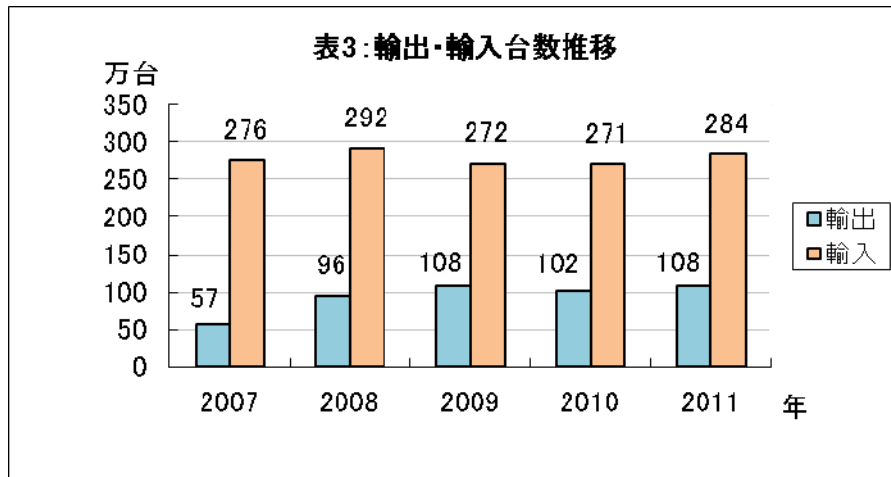


表4: 輸出台数上位10カ国 (単位:千台)

国名	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年/比率(%)
オランダ	120	178	233	212	214 20.0%
フランス	38	74	188	189	167 15.0%
オーストリア	99	129	125	107	119 11.0%
デンマーク	24	50	65	52	68 6.0%
ポーランド	40	101	72	60	65 6.0%
ベルギー	23	191	104	55	56 5.0%
スイス	46	46	56	52	52 5.0%
イタリア	10	17	36	39	40 4.0%
スペイン	8	15	22	45	35 3.0%
英国	15	18	23	22	24 2.0%
その他	151	144	154	188	244 23.0%
計	574	963	1,078	1,021	1,084 100.0%

表 5: 輸入台数上位 10 カ国 (単位:千台)

国名	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年/比率(%)	
台湾	423	488	404	389	337	12.0%
オランダ	156	202	253	236	279	10.0%
ポーランド	348	283	273	254	268	9.0%
リトアニア	266	252	179	148	266	9.0%
タイ	311	333	363	284	227	8.0%
ブルガリア	71	51	61	88	138	5.0%
チェコ共和国	108	118	111	151	125	4.0%
ルーマニア	97	129	85	142	118	4.0%
カンボジア	56	105	130	89	110	4.0%
オーストリア	63	76	80	94	93	3.0%
その他	858	881	783	830	883	32.0%
計	2,757	2,918	2,722	2,705	2,844	100.0%

3. 販売業態別シェア

販売業態別シェアでは、自転車小売専門店が前年と同じ 69%となり、7 割近い高いシェアを維持している。一方、デパートやスーパー等の量販全体のシェアは昨年より 2 ポイント減少して 23%となり、過去 5 年間では 1 割以上シェアを減らしている。また、通販・インターネットは昨年より 2 ポイント増加した。

自転車小売専門店は過去 5 年間でシェアを 1 割増やしているが、このシェア増加には EPAC の販売増加が大きく貢献している。ドイツでは自転車購入の際、品質やサービスを重視し自転車小売専門店で購入する傾向が強い。特に高額商品である EPAC の場合は、その傾向が顕著となる。

表 6: 販売業態別シェア

販売形態	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年
自転車小売専門店	59.0%	63.0%	68.0%	69.0%	69.0%
デパート・DIY 店・小型スーパー	34.0%	30.0%	26.0%	25.0%	23.0%
通信販売・インターネット	6.0%	6.0%	5.0%	6.0%	8.0%
その他	1.0%	1.0%	1.0%	0%	0%

4. 車種別販売シェア

車種別販売シェアでは、最多シェアを占めるトレッキング車は昨年より 1 ポイント減少した。また、MTB 及びレース用自転車(ロードバイク)/フィットネスバイク等のスポーツ車も昨年より 1 ポイント減少したが、その一方で電動アシスト自転車(EPAC)は昨年より 3 ポイントもシェアを増やしている。

過去 5 年間で見ると、トレッキング車、シティ車及びオランダ型及びツーリング車等の日常の移動手段として利用頻度の高い車種が一定のシェアを維持している一方で、ATB、MTB 及びロードバイク等のスポーツ車や子供車及び幼児車はシェアが減少傾向にある。

表7：車種別販売シェア

車種	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
トレッキング車	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%	34.0%
シティ車	23.0%	23.5%	24.5%	25.0%	25.0%
ATB	11.0%	10.0%	9.0%	8.0%	8.0%
MTB	12.0%	12.0%	11.0%	11.0%	10.0%
子供車	6.0%	5.0%	4.0%	3.5%	3.5%
幼児車	3.0%	3.0%	3.0%	2.5%	2.0%
オランダ型及びツーリング車	2.0%	2.5%	2.5%	3.0%	3.0%
レース用自転車／フィットネスバイク	7.5%	7.5%	7.0%	6.0%	5.0%
電動アシスト自転車	1.5%	2.5%	4.0%	5.0%	8.0%
その他	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.5%

5. 電動アシスト自転車

2011年ドイツにおける電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数は前年比55%増の31万台となり、前年よりも一気に11万台も増加する急増ぶりを見せ、同国市場におけるEPACブームの過熱ぶりを表す結果となった。更にZIVでは、2011年の欧州全体のEPAC販売台数は90万台に達したとも述べている。ドイツのEPACの平均販売価格は1,500~2,000ユーロ(150,000~200,000円)程度とみられ、同車種は同国製造業者と小売店の双方から高付加価値商品としてますます注目を集めている。

表8：電動アシスト自転車販売台数（単位：台）

年	2007	2008	2009	2010	2011
販売台数	70,000	110,000	150,000	200,000	310,000

2012年のドイツ自転車市場の見通しについて、ZIVではドイツのEPAC販売台数は2012年には40万台に達するとしており、現在のEPACブームにより自転車小売専門店は引き続き高い販売シェアと販売金額を維持し、EPACが市場全体けん引するものとみている。更にドイツ国内では、地方自治体等を中心に自転車利用を促進しようとする機運も高まりつつあり、ZIVではドイツの自転車保有台数は2010年の6,900万台から2011年には100万台増の7,000万台に達したとしている。

しかしながら、しばらくはEPACブームに支えられ販売部門は堅調であるとしながらも、欧州危機が不透明な現状から、国内製造部門の先行きについては、あまり楽観的な見方はできないとも述べている。

以上

統計出所：ドイツ二輪産業協会（ZIV）